

光星、山田高 初戦で激突

春季県高校野球15日開幕

15日から2年ぶりに開催される春季県高校野球選手権の組み合わせ抽選会が11日、青森市の県総合社会教育センターで行われ、16日の2回戦で八戸市東運動公園野球場で八戸市東運動公園野球場の八戸西を加えた22チームが参加し、八戸市と七戸町で計22試合を実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、球場での観戦は保護者ら関係者のみに限定する。



八学光星は昨秋の県大会、青森山田は昨夏の県大会王者。それぞれ準々決勝と決勝で接戦を演じており、今年も好勝負が期待できる。両校は2年前の春季県高校選手権でも初戦で激突している。

センバツ出場の八戸西は、2回戦で三沢商対弘前中央の勝者と対戦。勝てば準々決勝で八学光星対青森山田の勝者とぶつかる。春季地区大会で青森山田を破った青森は、

初戦（2回戦）の相手が五所川原に決まった。開幕ゲームは、15日午前9時、八戸市長根公園野球場での五所農林対八工大二。決勝は、23日午後0時半から、同球場で開催する。コロナ感染予防のため、開会式や閉会式などは行わない。

期間中にコロナで辞退するチームが出た場合でも、大会は継続する予定。抽選会のあいさつで、県高野連の赤井茂樹会長は「東北大会や夏のシード権にも関わる大事な大会。選手や開催地域の安全に配慮しながら、可能な限り予定通りに開催したい」と述べた。

上位2チームには、6月に秋田市で行われる東北大会の出場権が与えられるが、コロナ感染拡大の影響で開催は流動的。状況を見極めた上で、13日に可否が判断される見通しという。

（成田亮）